



2月号

横浜市立中田小学校

学校だより

第 513 号



中 田 小

学 校 教 育 目 標

さわやか笑顔中田っ子 思い合い ひびきあい
共に生きる力を育てます。

令和 6年 1月31日

中田小ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/>



感謝の気持ちを表す2月に

校長 中村 真弓

元日から大きな地震があり、災害はいつ起こるかわからないのだということを実感してスタートした令和6年、2024年ですが、早いものでもう2月になろうとしています。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害にあわれた方々に思いをはせ自分にできることで少しでも助けになることをしようと考えているところです。

つい先日、本校 PTA 役員を務めていただいた中田地域の先輩のみなさんとお話しする機会があり、その折に、中田地区の地名の由来について伺うことができました。「立場」や「萩丸」は地名だとばかり思っていたのですが、もともとはそのあたりに住んでいらっしゃる方の屋号だったそうです。交差点を指す呼び方として屋号を貸したところから地名のように広まったのでしょう。

同じように、言い伝え、伝説が由来の地名として「踊場」があります。「猫の踊場」の伝説は、供養塔があったり、地下鉄の駅構内の様子から、知っている方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。子どもたちがお世話になっているご縁で、中田地区にお住いの井上秀樹様からこの踊り場の猫の伝説にちなんだ像を学校に寄贈していただきました。井上様の手によるものです。(図書室の前のガラスケースに飾ってありますのでご来校の折にご覧ください。)

2月には学校の教育活動にご協力いただきお世話になった方々にお礼の気持ちを表せるように子どもたちに投げかけをしています。コロナ前の活動が戻ってきたり、新たに活動を始めたりして、今年度もたくさんの保護者の皆様、地域の皆様に教育活動を支援していただきました。皆様のおかげで豊かな学びができましたこと、感謝申し上げます。



また、2月は今年度の教育活動の反省を行い、改善を図る月でもあります。皆様からいただいた学校評価のご意見や、職員の反省をもとに改善策を話し合っているところです。学校報告会の紙面や学校運営協議会でお示しする予定です。保護者、地域の皆様、今後ともご理解、ご協力をお願いいたします。

← 11月に亡くなったうさぎのミルクを偲んで花やメッセージを供えました。

